独立行政法人
国民生活センター

報道発表資料

平成 25 年 2 月 21 日
独立行政法人国民生活センター

# ウオーターサーバーの温水コックが外れて子どもがやけど

自宅で使用していたウオーターサーバーで、締め付けが緩い状態の温水コックに乳幼児が触れてしまい、本体からコックが外れ、噴き出したお湯でやけどを負う事故が発生しており、PIO-NET（パイオネット：全国消費生活情報ネットワーク・システム）(注 1) には、2012 年度に同じ型式のウオーターサーバーの事故事例が立て続けに寄せられている。当該事業者である㈱ナック（以下、事業者という。）は対策を講じていたが、その後も未対策品での事故が発生していたことから、事故の再発防止のため、消費者に情報提供する。

(注 1)PIO-NET （パイオネット：全国消費生活情報ネットワーク・システム）とは、国民生活センターと全国の消費生活センターをオンラインネットワークで結び、消費生活に関する情報を蓄積しているデータベースである。

## 1． PIO-NET に寄せられた事故事例

【事例 1】

ウオーターサーバーを設置して担当者が帰った直後に、熱湯が出る蛇口の部品が外れ、1 歳の幼児が熱湯を浴びやけどした。

（事故発生年月：2012 年 6 月、千葉県、1 歳、男児）

【事例 2】

1 歳の息子がウオーターサーバーの熱湯を浴びやけどした。蛇口はロックされていたが根元から外れた。医者から 2 度の熱傷と診断され約 2 週間の通院が必要と言われた。

（事故発生年月：2012 年 7 月、福岡県、1 歳、男児）

【事例 3】

ウオーターサーバーのコックが外れ、本体から大量のお湯が噴き出て、付近にいた幼児が腕に重度のやけどを負った。

（事故発生年月：2012 年 11 月、宮崎県、0 歳、女児）

## ２． ウオーターサーバーの概要

事故事例のウオーターサーバーは、床置きタイプであった（写真１、表１）。

写真 1. 事故品の外観と各部の名称

表 1. 事故品の概要

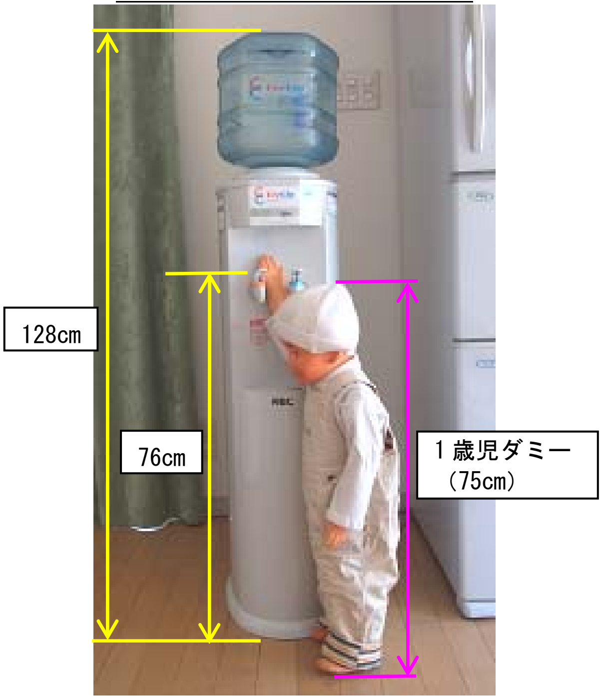
| | |
|---|---|
| 型番 | YO-04L |
| 輸入元 | 株式会社ナック |
| 定格電圧・周波数 | 100V AC・50/60Hz |
| 定格消費電力(W) | 73（冷水機） 450（湯沸機） |
| 冷水温度（℃） | 約 5～10 |
| 温水温度（℃） | 約 80～90 |
| タンク容量 | 2300cc（冷水タンク）<br>2000cc（温水タンク） |
| 製品重量（kg） | 16 |
| 製造国 | 韓国 |

## ３． コックの構造及び問題点

本体及びコックの高さを計測したところ、専用ボトルを取り付けた状態の本体の高さは 128cm、コックの高さは 76cm であり、コックまでは、1 歳児 (注 2) でも手の届く高さであった（写真 2）。

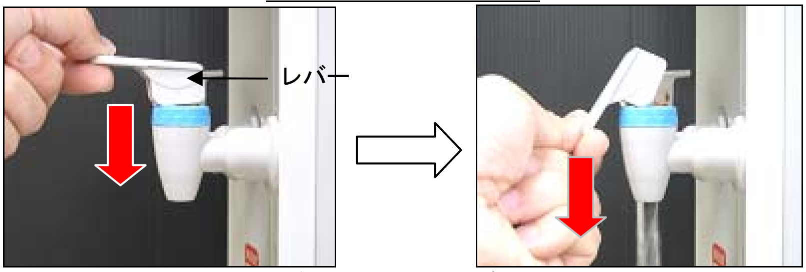
(注 2)厚生労働省「平成 22 年 乳幼児身体発育調査報告書」によると 1 歳 0～1 月未満の平均身長は男子で 74.9cm、女子で 73.3cm。

写真 2. 本体、コックの高さ



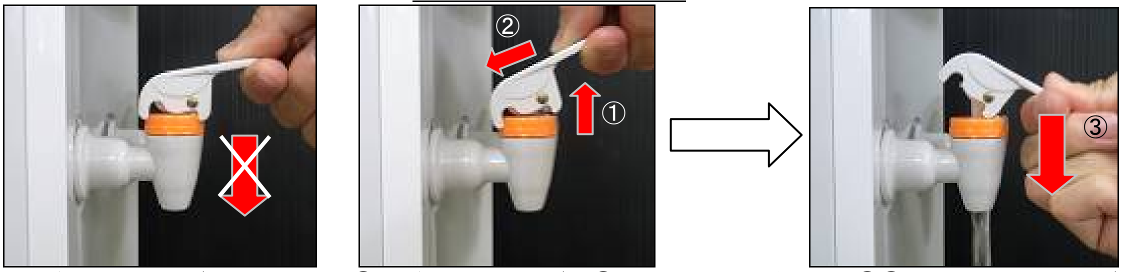
冷水はコックのレバーを押し下げるだけで出せるが（写真 3)、温水はレバーを持ち上げてスライドさせてからレバーを押し下げることで出せる構造であり、取扱説明書には「チャイルドロック」と表示されていた（写真 4)。

写真 3. 冷水の出し方




冷水は、レバーを下に押し下げるだけで出る

写真 4. 温水の出し方




レバーは押し下げできない　①レバーを持ち上げる②前方にスライドさせる③②の状態から押し下げる

また、コックは、本体のねじ部（温水側：金属製　冷水側：樹脂製）に樹脂製のコックをねじ込んで取り付けるようになっており、手で左に回すことで、取り外せる構造であった（写真 5)。

写真 5. 本体、コックのねじ部

温水側：金属製　本体　冷水側：樹脂製

コック

これらのことから、何らかの理由でコックの締め付けが緩くなっていたときに、乳幼児などがコックを回すなどして、温水コックが外れた場合は、身体にやけどを負う危険があった。

## ４．　事業者の対応

事業者は、温水コックが脱落したという報告を過去に受けていたため、2012 年 6 月に温水コックと冷水コックを面ファスナでつなぎ、コックの回転を防止する「コック回転防止ベルト」（写真 6）を、10 月には、コックを本体とネジで固定し、コックの回転を防止する「コック回転防止リング」（写真 7）を開発し、それぞれ 7 月、10 月に取扱店に通知している。通知内容は、「乳幼児など小さい子どもが利用する機会がある家庭、店舗や病院のように不特定の方が使用する場所には、取扱店が対策品を紹介し、契約者から希望があれば無料で取り付けること。」といった旨とのことである。

写真 6. コック回転防止ベルト（事業者提供）

温水コックと冷水コックを面ファスナでつなぎ、コックの回転を防止する

写真 7. コック回転防止リング（事業者提供）

コックを本体とネジで固定し、コックの回転を防止する

## ５．　問題点

事業者が対策品を開発してコックの回転防止の対策をとっているが、通知は取扱店向けのみに行っており、末端の契約者への周知が不十分であると思われた。

## ６．　消費者へのアドバイス

該当する型番のウオーターサーバーを使用しており、乳幼児など小さい子どものいる家庭や不特定多数の使用者がいる設置環境にある場合は、契約している取扱店に連絡し、「コック回転防止ベルト」か「コック回転防止リング」を取り付けてもらうこと。また、小さい子どもや不特定多数の使用者がいなくても、コックに緩みがあった場合は、直ちに取扱店に連絡すること。

## ７． 事業者への要望

事故の再発防止のため、末端の契約者へ確実に周知し、早急に改善を図ること。

### ○要望先

株式会社ナック

### ○情報提供先

消費者庁 消費者安全課

経済産業省 商務情報政策局 商務流通保安グループ 製品安全課

消費者委員会事務局

一般社団法人 日本宅配水協会

本件問い合わせ先

商品テスト部：042-758-3165

<title>ウオーターサーバーの温水コックが外れて子どもがやけど</title>